

第 6 次館山市障害者基本計画，館山市障害福祉計画（第 7 期）及び館山市障害児福祉計画（第 3 期）
策定支援業務委託事業者
評価基準

1 基本事項

第 6 次館山市障害者基本計画，館山市障害福祉計画（第 7 期）及び館山市障害児福祉計画（第 3 期）
策定支援業務を委託する事業者を公募し，選考委員会により選考し決定する。

審査点は，別紙「第 6 次館山市障害者基本計画，館山市障害福祉計画（第 7 期）及び館山市障害児福祉計画（第 3 期）策定支援業務委託事業者 評価表」（以下，「別紙評価表」という。）に従い，採点を行う。

2 配点

評価項目に 150 点を配分し，満点を 150 点とする。

3 審査点の算出

第 6 次館山市障害者基本計画，館山市障害福祉計画（第 7 期）及び館山市障害児福祉計画（第 3 期）
策定支援業務委託事業者選考委員会の選考委員は，別紙評価表に基づき，「特に優れている」，「優れている」，「普通」，「やや劣る」，「劣る」，「提案できていない」の 6 段階で評価し，価格評価については，最低提案価格を満点（45 点）とし，他は最低提案価格を当該提案価格で除した割合に 45 点を乗じ，少数第 4 位以下を切り捨てた評価点とする。

審査点は，原則として採点者の点数を合算し算出する。

4 評価の方法

- （１）選考の結果，評価点の合計が最も高い者を優先交渉権者とし，随意契約の交渉を行う。ただし，その者と合意に至らなかった場合は，次に評価点の高い者から順に契約締結の交渉を行う。
- （２）最も高い評価点の合計を獲得した提案者が複数ある場合は，評価表の重要度 A の項目についてのみ合計し，その範囲において最も高い評価点を獲得した提案者を優先交渉権者として選考する。この場合においても提案者が複数となるときには，選考委員会の合議による優劣の比較を行い，優先交渉権者候補者を選考する。
- （３）選考委員会の評価点の合計が全体の 6 割未満である場合は，優先交渉権者としては選考しないものとする。

第6次館山市障害者基本計画，館山市障害福祉計画（第7期）及び館山市障害児福祉計画（第3期）
策定支援業務委託事業者 評価表

	評価視点	重要度	配点					
			特に優れている	優れている	普通	やや劣る	劣る	提案できていない
業務執行体制	専門的な知識・ノウハウ・経験を有した担当職員を配置し，担当者を複数人配置するなど適切な体制がとられているか	A	10	8	6	4	2	0
	担当者は質問に対し，明瞭かつ迅速な回答能力を有しているか 業務を進めるにあたり，本市の要望に柔軟な対応ができるか	B	7	5	4	3	2	0
事業執行全体計画	本業務を遂行するために適切なスケジュールが設定されているか スケジュール進捗管理について，適切な体制がとられているか	A	10	8	6	4	2	0
アンケート・事業所調査等	本市の意図を理解し，具体的かつ確かな手法で調査を遂行することができるか 個人情報の取り扱いを適正に対応できる提案となっているか	A	10	8	6	4	2	0
人口等の現状分析	障害者人口・障害福祉サービスの支給量等の推計方法について，具体的かつ適切な提案がされているか	B	6	4	3	2	1	0
現状把握課題抽出	本市の今期計画を理解しているか現状分析に有効な方法が提案されているか	A	10	8	6	4	2	0
課題整理	本市の障害者の現状を理解し，調査により課題の整理及び抽出をする手法が提案されているか	A	10	8	6	4	2	0
政策動向の把握	障害者福祉をめぐる法改正などの国・県の政策動向等に対する情報をとらえているか	A	10	8	6	4	2	0
会議支援	障害者計画策定委員会、障害者計画策定部会、およびその他会議における，資料作成，助言，議事要旨の作成など，事務的な支援が期待できるか	A	10	8	6	4	2	0
編集・表現	子どもから大人まで，市民に分かりやすく見やすい計画書となるよう，工夫された提案がされているか	B	6	4	3	2	1	0
論理性	論理的な視点で，骨子案を提案されているか	A	10	8	6	4	2	0
事業実績	本事業を遂行するために必要な業務実績を有しているか他市町村の障害者計画、保健福祉計画策定等実績があり，成果をあげているか	B	6	4	3	2	1	0
価格	< 価格評価計算式 > 45点×最低提案価格 / 当該提案価格	特A	45					
		合計	150					